

平成30年春期 六浦東地区推進連絡会

1 日時

平成30年3月27日(火) 19時00分～21時00分

2 場所

関東学院大学 Foresight21・10階中会議室

3 参加者 46人

(地域側) 自治会等地域団体関係	22人
学校関係(瀬ヶ崎小、六浦中、関東学院大学)	4人
(支援チーム、その他行政側)	
区役所・市役所	11人
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	6人
警察署、消防署・消防団	3人

4 「高齢化に関する各種データと市・区・地域の主な取組～認知症、介護予防、健康寿命など～」

資料2に沿って、新井福祉保健センター担当部長から説明。

- ・金沢区の人口は先月20万人を割り、徐々に減少していくことが見込まれている。高齢化率は現在28%だが、2035年には36.6%の推計となっている。
- ・65歳以上の人口のうち、認知症患者の割合は2025年には20%前後、金沢区の人口に当てはめると約12,000人で65歳以上の5人に1人が認知症患者という推計である。
- ・本市でもさまざまな認知症施策を実施しているが、地域ケアプラザやもりのお茶の間など地域においても、認知症予防策に熱心に取り組んでいる。認知症・介護予防のためには、できる人ができるところから健康の維持増進につながるいろんなメニューを用意できる環境づくりが大切。
- ・また、社会活動等への参加が健康寿命を伸ばすといったデータもあるため、ただ参加するだけでなく、自分で活動を動かしていくことが元気の秘訣と考える。

5 第3期金沢区地域福祉保健計画地区別計画(六浦東地区)の振り返り

資料3に沿って、村上地区社会福祉協議会事務局長から説明。

6 グループワーク

「高齢化が進むなか、元気で六浦に住み続けられるために、地域として何ができるか」をテーマにグループワークを行った。

【討議内容の発表】

(Aグループ)

- ・現状・課題：高齢化が進み民生委員やスポーツ推進委員の成り手がいない。こども会も役員を担うことへの負担感から会員数が減ってきている。
- ・現在の取組：瀬ヶ崎小学校で行う芸能祭などは多くの保護者が見に来るなど盛況。中学生に地域の活動に参加してほしいが、部活やテストなど忙しい。
- ・今後の取組：瀬ヶ崎小学校の地域交流室に地域の人たちがつどい、交流できると良い。

(Bグループ)

- ・現状・課題：自治会役員が高齢化している。家が高台にある地域は、高齢化とともに下におりるのが億劫になり外との交流がなくなってしまう。
- ・現在の取組：地域の高齢者と子どもとが交流できるような行事の実施を図っているものの、なかなか交流に発展することが難しい。
- ・今後の取組：月1回もりのお茶の間やアスレの森に行くことを呼びかける。大事なのは同年代との交流なので、好きな友達と座って話しお茶を飲む「座ろう坂道キャンペーン」を行ってはどうか。体を使う・楽しめると地域で元気な生活が続けられる。

(Cグループ)

- ・現状・課題：70代の方は、自分はまだ高齢者ではないと思っており、地域活動への参加もない状況。60代は働いている方も多し。ひとり暮らしの40代・50代も増えてきている。ご近所のつながりが薄くなってきている。
- ・現在の取組：もりのお茶の間の取組が子育て家庭から高齢者までさまざまな年代の役に立っている。また、知らない人に対してもあいさつや声かけをしている。
- ・今後の取組：小さなバスなどの送迎システム、配食サービスがあると良い。ウォーキングコースを作り子どもたちも楽しめるようにし、子どもにつられて祖父母が参加できると良い。

(Dグループ)

- ・現状・課題：老々介護の世帯が増えてきている。男性は外に出ない。行事に人が集まらず縮小傾向にあるため、若い人に参加してもらいたい。
- ・現在の取組：健康づくりウォーキング、寺めぐり、ラジオ体操、口腔ケア、もりのお茶の間の取組などを行っている。
- ・今後の取組：30～50代を引っ張り出し地域活動に参加してもらいたい。

(新井福祉保健センター担当部長から講評)

- ・健康を害する要因のひとつに「孤立」があると言われている。人とのつながりをつくるのが大切。
- ・いろいろな提案が出たが、何も全部やる必要はなく身近にできるところから始められると良い。小さなことから取り組み、それを契機に新しい取組につながればと思う。いろんなメニューがあれば、自分に合ったものに参加しやすくなるのではないかな。

7 平成30年度金沢区「個性ある区づくり推進費」予算案について【資料4】

資料4に沿って水野生活支援課長から説明。

8 その他

(1) 金沢警察署（生活安全課 杉山氏）

- ・管内では現在133件の事件が発生しており昨年度より15件増。空き巣や振り込め詐欺、自転車の窃盗の被害件数が増えている。
- ・振り込め詐欺では、直接自宅に銀行のカードを取りに来るといった手口が増えている。家族、隣近所でも声かけなど防犯に努めてほしい。
- ・交通事故も昨年度より9件増えて現在43件。自転車、高齢者、子どもの事故が増えている。

- (2) 金沢消防署（丸茂六浦出張所長）
- ・ 火災件数は、市内・区内ともに昨年度より減っている。一方で救急車の要請件数は昨年度よりも増えている。＃7119の救急相談センターの利用促進について、引き続き普及啓発を行っていきたい。
- (3) 消防団（第7分団長岩崎氏）
- ・ 現在85名定員のところ97名の団員がおり、うち女性が11名。横浜市立大学の学生もいる。4月1日に合同訓練があるので興味がある方は見に来てほしい。
- (4) 瀬ヶ崎小学校（梅田校長）
- ・ アスレの森ワークショップを来年度どのようにしていくとより良いか、地域、関東学院大学と話し合っている。
 - ・ 新しい学習指導要領ができたが、そこでも「つなぐ」ということがキーワードになっている。社会・地域・子どもがつながっていくということを大事にしていきたい。
- (5) 六浦中学校（山下校長）
- ・ 地域防災の観点からも中学生が地域とつながっていけると良い。
- (6) 関東学院大学（中津准教授）
- ・ アスレの森ワークショップの報告書を作成したので、各町内会にお渡ししたい。地域の方々が自由に自然に親しむ場ができると良い。アスレの森やもりのお茶の間など、さまざまな拠点がある。ちょっとした移動を積み重ねて、気づいたら拠点に辿りついた、というまちになると良い。
 - ・ 今後は大学の社会連携センター相談員も関わり、学校として六浦東地区連合自治会をバックアップできればと考えている。
- (7) 柳町地域ケアプラザ
- ・ 今日のいろいろなアイデアを実行してみたいな、と思われたときは、ケアプラザの職員が出向いていっしょに考え、手伝えることができる。
 - ・ 次年度の11月3日の感謝祭では、地域にある障害者施設と合同で行う計画を立てている。
- (8) 区社会福祉協議会（山下事務局次長）
- ・ 区社会福祉協議会もお手伝いができ、また助成金などもあるので相談していただきたい。